

# 第3章

## 将来目標

### 将来目標

安全で安心なまち

魅力的で活力あふれるまち

健康でやすらぎのあるまち

世田谷の文化を育み、未来が輝くまち

区民が創るまち

### 都市構想図

今後10年間、区民とともに実現を目指す5つの将来目標を設定しました。目標に向けた取り組みを進め、「いつまでも住み続けたい『魅力あふれる安全・安心のまち世田谷』」を実現していきます。

## 1 安全で安心なまち

世田谷区は、区民が安全で安心して暮らせるまちを目指します。

- 密集市街地を中心に、道路、公園などの都市基盤の整備や避難路の沿道整備を進め、安全なまちを目指します。
- 地域におけるコミュニティの醸成に努め、ハード・ソフト両面から災害に強い安全なまちを目指します。
- 地域社会のつながりや見守りあいを大切にして、犯罪のないまちを目指します。
- ユニバーサルデザインの視点から道路空間の整備を進めるとともに、総合的な交通ネットワークを確立し、誰もが安全で移動しやすいまちを目指します。
- 子どもから高齢者まで誰もが、地域とともに支えあい必要なサービスを受容でき、地域で安心して暮らせるまちを目指します。

## 2 魅力的で活力あふれるまち

世田谷区は、そこに住み、働き、生活する人びとだけでなく、買いものや観光などでそこを訪れる人びとにとっても、魅力的で活力あるまちを目指します。

- 世田谷区内で育まれてきた商店街や都市農業などの産業、また地域風景や文化資源等の魅力・価値を大切にし、それらの地域資源が活かされる魅力的なまちを目指します。
- 世田谷区の地域資源を活用し、世田谷区特有の新たな産業・企業が活発に生み出される活力あるまちを目指します。
- 地域のにぎわいの核の整備に加え、区民、町会・自治会、NPO、産業、大学等の連携・協働によって地域の新たな魅力を創造し、活力あるまちを目指します。

## 3 健康でやすらぎのあるまち

世田谷区は、子どもから高齢者まで、区民一人ひとりが、健康で、お互いを思いやり、理解し合えるようなやすらぎのあるまちを目指します。

- 生活を営む上でうるおいをもたらす水と緑や、優れたまちなみの保全・回復・創出に努め、区民がやすらぎを持って暮らせるまちを目指します。
- 区民、事業者が、省エネルギーや省資源、ごみの発生・排出抑制など環境に配慮した行動を自ら率先して行うことにより、将来世代に負担を残さない社会の実現を目指します。
- 区民一人ひとりが「自らの健康は自分でつくる」という考えを常日頃から実践でき、いつまでも健康な生活をおくることができるまちを目指します。
- 区民相互の支えあいによって、高齢者・障害者が住み慣れた地域でいつまでも健康で、安心して住み続けられるまちを目指します。

## 4 世田谷の文化を育み、未来が輝くまち

世田谷区は、区民が豊かな地域文化を愛し育むまちを目指すとともに、地域に根ざした教育を推進し、豊かな人間性や知力、体力を身につけ、次代を担う個性あふれる子どもが育つまちを目指します。

- 地域の参画による学校づくりを行い、次代を担う人材を育むまちを目指します。
- 子どもたちが、さまざまな人やものにふれあい、学習をとおして多様な個性や才能を伸ばせるまちを目指します。
- 誰もが安心して子育てができ、次代を担う子どもたちが、夢や希望を持ち、いきいきと育つまちを目指します。
- 世田谷区内の文化資源が、生活の質や地域の活力の向上につながるまちを目指します。

## 5 区民が創るまち

世田谷区は、主役である区民が人権の尊重や男女共同参画などの視点に立ち、人びとの多様性を認めあい、区民の手によってすべての人に開かれた地域社会を創り、育てていくまちを目指します。

- 世田谷区に住み、働き、学ぶ人たちが、主体的に地域の活動に参加し、生き生きとしたコミュニティのあるまちを目指します。
- 地域に関する情報や課題を共有し、区民や事業者が区政へ参画できるまちを目指します。
- 地域の課題の解決に向けて、区民、事業者、行政の間で情報の共有と、適切な役割分担をすることにより、各主体が責任を持って連携しながら行動するまちを目指します。
- 男女が互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い、互いに協力し合って、それぞれの個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会を目指します。

世田谷区の5つの将来目標の実現に向け、総面積5,808haの中で82万人が住む世田谷区において、「拠点」と「軸」を整備することにより、総合的・計画的に都市空間の形成を図ります。

## 拠点

都市に求められる多様な機能を集積し、人・もの・情報を広域的に集め、さまざまな出会いや交流を促進するために形成します。

### 1 にぎわいの拠点

にぎわいの拠点は、世田谷区の顔としての魅力と風格を備え、さまざまな交流のある活気に富んだ核として位置づけ、商業・業務機能、文化・交流機能の集積を高めるとともに、豊富な地域文化資源などを積極的に活用しながら、土地の有効利用を図ります。

### 2 地域生活拠点

地域生活拠点は、区民の日常生活における商業・文化・行政サービス等の核として位置づけ、商店街の環境整備などにより、魅力あるまちづくりを推進していきます。

## 軸

人・もの・情報の動きを活発化させるとともに、良好な生活環境の快適性を向上させるために形成します。

### 1 みずとみどりの軸

国分寺崖線及び多摩川水際線のみずとみどりの軸として位置づけ、区民にうるおいを与える憩いの場として、その保全・整備を図ります。

### 2 拠点連携軸

拠点連携軸は、区内各拠点やそれらと周辺区市との広域的な連携を図るための軸として位置づけ、公共交通機関や主要幹線道路の整備などにより形成します。そして、各拠点間の連携・交流を活発にするとともに、各拠点機能の充実を図ります。

# 都市構造図



